

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2003-201267 (P2003-201267A)

【公開日】平成 15 年 7 月 18 日 (2003.7.18)

【出願番号】特願 2002-316558 (P2002-316558)

【国際特許分類】

C 07 C 67/29 (2006.01)

C 07 C 69/54 (2006.01)

C 08 F 8/02 (2006.01)

C 08 G 59/14 (2006.01)

C 08 G 63/91 (2006.01)

C 08 G 65/332 (2006.01)

C 08 G 85/00 (2006.01)

C 08 F 299/02 (2006.01)

【F I】

C 07 C 67/29

C 07 C 69/54 A

C 07 C 69/54 Z

C 08 F 8/02

C 08 G 59/14

C 08 G 63/91

C 08 G 65/332

C 08 G 85/00

C 08 F 299/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 31 日 (2007.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

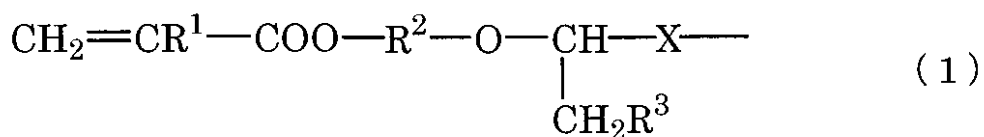
【請求項 1】 (メタ) アクリロイル基とビニルエーテル基とを共に有する化合物を該ビニルエーテル基と付加反応しうる官能基を 2 個以上有する化合物と反応させることを特徴とする (メタ) アクリロイル基を有する化合物の製造方法。

【請求項 2】 水酸基、カルボキシ基及びチオール基からなる群より選ばれる一種以上の官能基を 2 個以上有する化合物 (A) 及び (メタ) アクリロイル基とビニルエーテル基とを共に有する化合物 (B) を、(A) の有する該官能基と (B) の有するビニルエーテル基とを付加反応することによって得られることを特徴とする (メタ) アクリロイル基を有する化合物。

【請求項 3】 前記水酸基、カルボキシ基及びチオール基からなる群より選ばれる一種以上の官能基を 2 個以上有する化合物 (A) は、エポキシアクリレート、不飽和ポリエステル、フェノール樹脂、エポキシ樹脂、フェノキシ樹脂、水酸基含有ポリマーであることを特徴とする請求項 2 記載の (メタ) アクリロイル基を有する化合物。

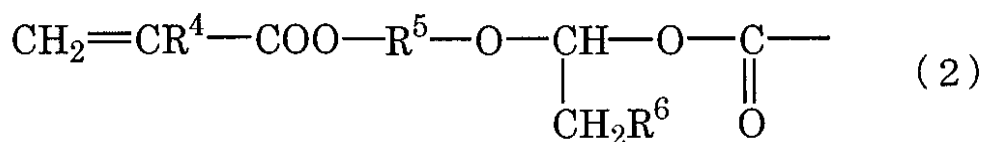
【請求項 4】 下記一般式 (1) ;

【化 1】



(式中、 R^1 は、水素原子又はメチル基を表す。 R^2 は、有機残基を表す。 R^3 は、水素原子又は有機残基を表す。 X は酸素又はイオウ原子を表す。) で表される(メタ)アクリロイル基を有する基及び/又は下記一般式(2) ;

【化2】



(式中、 R^4 は、水素原子又はメチル基を表す。 R^5 は、有機残基を表す。 R^6 は、水素原子又は有機残基を表す。) で表される(メタ)アクリロイル基を有する基を1分子中に2個以上有する

ことを特徴とする(メタ)アクリロイル基を有する化合物。

【請求項5】 請求項2～4のいずれかに記載の(メタ)アクリロイル基を有する化合物と、無機充填材及び/又は導電性付与剤とを含むことを特徴とする組成物。